

社会情報学部研究論集執筆要領

1. 投稿原稿は、総説、原著論文（学術論文）、短報、研究ノート、翻訳、書評、資料等（研究活動の要旨は含まない。）とし、その種別は投稿者の判断によるものとする。

2. 投稿原稿の量は、図表、写真、引用文献等を含め以下のとおりとする。

- a) 総説・原著論文・研究ノート・翻訳：20 ページ以内
和文で横書きの場合は1行45字、34行の1段組
縦書きの場合は1行30字、23行の2段組
欧文原稿は上記に準ずるものとする。
- b) 短報・書評・資料：4 ページ以内

3. 投稿原稿の形式

- (1) A4版のカメラレディ原稿をそのまま印刷するため、投稿原稿は原則として指定のテンプレート（Word ファイル）を使用し、刷り上がりイメージと同じフォーマットで作成する。
テンプレートでは各部分の書式が Word のスタイルとして設定されている。各スタイルの詳細は別紙参照のこと。
- (2) 1 ページ目の先頭に原稿種類、表題（副題を含む）、著者名、研究室名、欧文表題（欧文副題を含む）、欧文著者名、欧文研究室名をそれぞれに対応したスタイルで記載する。
ただし、欧文原稿の場合は、和文の表題、著者名、研究室名は省略する。
 - ◆ 原稿種類は『論集原稿種類』スタイル
 - ◆ 表題、欧文表題は『論集主題』スタイル、それぞれの副題は『論集副題』スタイル
 - ◆ 著者名、欧文著者名は『論集著者名』スタイル
 - ◆ 研究室名、欧文研究室名は『論集研究室名』スタイル
- (3) 欧文研究室名の後に1行空け、要旨見出し「Abstract」を『論集要旨見出し』スタイルで記載し、1行空けて、200語程度の欧文による要旨を『論集要旨本文』スタイルで記載する。
- (4) 要旨の後に1行空け、キーワード見出し「キーワード：」を『論集キーワード見出し』スタイルで記載し、その後にキーワードを『論集キーワード』スタイルで記載する。
- (5) キーワードの後に1行空け、本文、謝辞、注、Appendix、引用文献の順に記載する。
- (6) 本文及び謝辞、注、Appendix は『論集本文』スタイルを使用する。
- (7) 本文の章、節には「1.」「1.1.」のように番号を付け、それぞれ『論集章見出し』スタイル、『論集節見出し』スタイルを使用する。

4. ヘッダ・フッタ

- (1) 1 ページ目のヘッダに「群馬大学社会情報学部研究論集 第22巻 1-18頁 2015」のように研究論集の巻番号とページ数、発行年を記載する。
- (2) 2 ページ目以降の、偶数ページのヘッダには著者名を、奇数ページのヘッダにはランニングタイトル（欄外表題）をそれぞれ記載する。
ただし、ランニングタイトルは和文40字以内、欧文70字以内とする。
- (3) 各ページのヘッダに通し番号を付す。
（奇数ページでは右側に、偶数ページには左側に記載する。）

5. 図表・数式

- (1) 図表や写真は本文中の該当箇所に埋め込み、それらの元ファイルを原稿ファイルとは別に提出する。
- (2) 図表には通し番号を付け、表題を付ける。
ただし、図の表題は図の下に、表の表題は表の上に付け、そのフォントサイズは本文と同じにする。
- (3) 数式は、式として独立しているものは

$$\frac{a}{b}, \frac{a+b}{c+d}$$

のように、また文中では a/b , $(a+b)/(c+d)$ のように書き、なるべく簡潔に表現し、添字が複雑になることを避ける。

6. 引用文献

引用文献については、本文中の文献の引用方法、文献リストの書き方は特に指定しないが、関連学会誌の慣例に従って行う。ただし、文献リストのフォントサイズは本文と同じにする。

7. その他

- (1) 英数字は原則として半角文字にする。
- (2) 縦書き原稿の場合は、横書き原稿と以下の点が異なる。
 - a) 2ページ目以降のヘッダに対し、偶数ページにランニングタイトルを、奇数ページに著者名を記載する。
 - b) キーワードの後に改ページし、本文の先頭に表題（副題を含む）、著者名、研究室名をそれぞれ『縦書き用論集主題』（『縦書き用論集副題』）、『縦書き用論集著者名』、『縦書き用論集研究室名』スタイルで記載する。
 - c) 各ページのフッタに通し番号を付す。

【別紙】各スタイルの設定内容

ヘッダ	(日)MS明朝+(英)Times New Roman, 9pt
フッタ	(日)MS明朝+(英)Times New Roman, 9pt
論集原稿種類	(日)MS ゴシック+(英)Century Gothic, 10.5pt
論集主題	(日)MS明朝+(英)Times New Roman, 16pt, 太字, 中央揃え
論集副題	(日)MS明朝+(英)Times New Roman, 13pt, 太字, 中央揃え
論集著者名	(日)MS明朝+(英)Times New Roman, 12pt, 中央揃え
論集研究室名	(日)MS明朝+(英)Times New Roman, 9pt, 中央揃え
論集要旨見出し	(日)MS ゴシック+(英)Century Gothic, 10.5pt, 太字, 中央揃え
論集要旨本文	(日)MS明朝+(英)Times New Roman, 10.5pt
論集キーワード見出し	(日)MS ゴシック+(英)Century Gothic, 10.5pt, 太字
論集キーワード	(日)MS明朝+(英)Times New Roman, 10.5pt
論集本文	(日)MS明朝+(英)Times New Roman, 10.5pt, 段落先頭1文字字下げ
論集章見出し	(日)MS ゴシック+(英)Century Gothic, 12pt, 太字
論集節見出し	(日)MS ゴシック+(英)Century Gothic, 10.5pt, 太字
論集注/文献見出し	(日)MS ゴシック+(英)Century Gothic, 10.5pt, 太字
論集引用文献本文	(日)MS明朝+(英)Times New Roman, 10.5pt, 2行目以降2文字字下げ
縦書き用論集主題	MS明朝, 16pt, 太字, 5文字字下げ
縦書き用論集副題	MS明朝, 13pt, 太字, 8文字字下げ
縦書き用論集著者名	MS明朝, 12pt, 48文字字下げ
縦書き用論集研究室名	MS明朝, 9pt, 62文字字下げ